

平成30年度 第5回豊南地域会議 会議録

- 日 時 平成30年7月19日(木) 午後6時30分～午後8時45分
- 場 所 豊南交流館 1階 大会議室
- 出席者 <委員>市川 繁 奥村 学 片桐 弘 鷹見 喜仲
瀧上 久 橋 寿一 内藤 正康 中野 洋
西口 武彦 林田 賢士 堀 恵子 松岡 ミネ子
三浦 智 三尾 良介 宮川 尚子 山内 悟
吉森 則雄
- <欠席者>坂田 一浩 杉浦 百恵
- <交流館>梶 いづみ (豊南交流館長)
- <事務局>小澤 都司子 (拳母事務所長兼地域支援課長)
中根 裕之 (地域支援課副課長)
梅村 剛 (地域支援課担当長)
勝上 奈津希 (地域支援課主事)

■次 第 開 会

豊田市民の誓い唱和

会長あいさつ

- 1 前回の振り返り
- 2 地域予算提案事業について
 - (1) 平成31年度事業の素案に対する意見交換会について
 - (2) 平成31年度以降の地域予算提案事業(新テーマ)について
 - (3) 平成30年度地域予算提案事業(交通安全事業)について

閉 会

■議 事(要約)

- 1 前回の振り返り
前回地域会議での協議内容を確認。
 - 2 地域予算提案事業について
 - (1) 平成31年度事業の素案に対する意見交換会について
意見交換会の開催について協議。
 - ◆ 主な意見等
 - ・ 今後地域会議で中心的に取り組むテーマは防災であるため、意見交換の主なテーマに設定するべき。
- ⇒最近、各地で様々な災害が起こっており、地域住民の関心も高いと思う。

- ・交通安全についても、長年取り組んできたテーマであるので、今後も地域住民に意見を聞きながら進めるべきだと思う。
- ・テーマが広いと参加者がどんな意見を言えばいいかわからないと思うので、意見をもらうポイントを決めたほうがよい。
- ・2つ以上のテーマを意見交換会で取り上げるのであれば、参加者がどのテーマについて意見交換したいか希望を聞けるとよい。

◆ 決定事項

- ・意見交換会を9月13日（木）に実施する。
- ・参加案内は、8月初旬に各自治区でチラシの回覧を行い、8月8日（水）の地区区長会でも参加依頼を行う。
- ・意見を聞くテーマは防災と交通安全とし、参加者に意見交換したいテーマを事前に聞き取る。

(2) 平成31年度以降の地域予算提案事業（新テーマ）について

«以下、各部会の協議結果»

【防災事業検討部会】

◆ 豊南における課題の検討

- ・日常の備え、避難への意識、災害時の女性目線等が課題として上がった。
- ・地域会議として取り組むべき課題については次回以降検討する。
- ・9月13日（木）に実施する意見交換会では、今回洗い出した課題についてグループごとに割り振り、意見をもらう。

【移動支援事業検討部会】

◆ 勉強会での交通政策課への依頼事項

- ・豊南地域における公共交通の現状、地域バス等を含めた今後の方針について話してもらうよう依頼する。

◆ アンケート内容の検討

- ・次回内容決定する。
- ・9月頃に高齢者クラブを通じて配布し、目標回答数は200件程度とする。

(3) 平成30年度地域予算提案事業（交通安全事業）について

«以下、各部会の協議結果»

【啓発部会】

◆ みどり線の啓発

- ・平和小学校区交通安全推進協議会が作成したマップを参考に、委員での調査を検討する。
- ・啓発に必要な情報量や調査する委員等については、次回協議する。

【運動部会】

◆ ハンドアップ運動

- ・各学校の登下校見守り活動を行っている方に、ハンドポップの配布を行う。

⇒前山小、平和小は学校を通じて配布、山之手小は自治区を通じて配布できないか検討する。

- ・ハンドポップマニュアルを見守り活動時用に見直す。
- ・地域会議からハンドアップ運動への協力を改めて学校に依頼することが必要である。

【計画部会】

◆ 平成31年度事業の計画

- ・演劇やスケアードストレートといった子どもに向けた啓発を、継続する取組として検討する。

⇒子どもへの啓発の際に、高齢者にも参加してもらい、高齢者への啓発も同時に行えるとよい。

◆ 豊南地域各種団体との意見交換会

- ・各学校のPTAから3～5名程度参加者を募り、意見交換会を開催できないか検討する。
- ・自治区でのサロン等開催時に、意見交換を行うことができないか検討する。
- ・8月中にPTA（鷹見委員）、各自治区（西口委員）に相談する。

（終了）

次回開催日 平成30年8月23日（木）午後6時30分から 豊南交流館